

今後のDX推進に向けて

- 引き続き、中長期的な視点での「DXにより目指すべき姿」を見据え、本市のDXコンセプトである「さいたまデジタル八策」に沿った施策展開に取り組む。
- 新たな「三本の矢」として以下に着手し、個別施策の具体的な検討や庁内施策の総合的な整理に取り組む。
 1. デジタル新提案：本市の課題を提示し、これに対する提案を事業者から募集。また、市民の意見や意識を把握するため、新たに市民モニターへのアンケート調査を実施し、今後のDX推進へ反映。
 2. デジタル総点検：各事務や施策について、デジタルを活用することでより一層改善を図ることが可能か点検を実施。
 3. デジタル再設計：原則として令和5年度の予算要求を念頭に、現時点で想定されるデジタル関係施策を整理。



今後のDX推進に向けて

DXの新たな展開

- 日進月歩で発展するICT技術や市民ニーズなどの社会情勢の変化等を踏まえ、「行政デジタル化計画」やその「アクション・プラン」を見直す必要があると考えている。また、その過程においては、令和3年8月に策定した「DX推進に向けた当面の重点事項」の位置付け等も含めて再整理することを想定。
- 中央区役所周辺における「デジタルタウン構想」やその一環である「デジタル区役所」に向けた取組を強化するとともに、区役所窓口のDXを推進するための「区役所窓口DX推進部会」等とも適宜連携。
- DXに関するHPや市民モニターへのアンケート調査等を通じ、DXに関する市民への発信や市民ニーズの把握等を強化し、「市民に寄り添ったDX」を推進。
- 令和7年度までの原則オンライン化に向けて、令和4年3月に策定した「オンライン化導入方針」に基づき、局長等のマネジメントのもとで各部局において主体的にオンライン化を実施。

さいたま市DX推進本部体制の再編(案)

- PT：スピード感の向上と幹事会との棲み分けを目的として、事務局（デジタル改革推進部）へ整理・集約。
- 窓口オンライン化WG：キャッシュレス化も含め検討フェーズから実行フェーズへ移行することに伴い、「デジタル完結・自動化原則」に基づく新たな課題設定の検討を行うことから、「窓口デジタル化WG」として再編。
- デジタル活用WG：職員人材育成は、WGの整理を引継ぎデジタル改革推進部において今後取組を進めることから、市民のデジタル活用にフォーカスした「デジタルデバイドWG」として再編。
- 業務改革WG：SWGの論点は「業務デジタル化WG」へ一部引継ぎ、検討体制の明確化の観点も含め「システム標準化WG」として再編。

